

全建発 21～011号
平成 21 年 4 月 27 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松田 芳夫



第 549 回建設技術講習会（リスク及び危機管理）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約 7 万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第 549 回建設技術講習会では、地球温暖化に伴う大雨の頻度の増加、台風の強度の増大、海面水位の上昇等が予測されるなか、洪水や土砂災害、高潮災害などの自然災害リスクの増大に対し、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての長期的な視点に立った予防的な施設の整備や災害に備えた体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）及び判断のあり方、災害危機管理能力の向上などの施策及び取り組みについて学び、防災対策の推進に資することを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第20～330号
平成21年1月21日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 前 川 秀 和
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成21年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、我が国においては「安全・安心で豊かな社会づくり」、「地球環境時代に対応した暮らしづくり」、「地域の活力と成長力の強化」等、大規模災害や地球温暖化また地域活力低下などへの対応が強く求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成21年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第549回建設技術講習会（リスク及び危機管理）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成21年7月8日（水）～10日（金）、札幌市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、地球温暖化に伴う大雨の頻度の増加、台風の強度の増大、海面水位の上昇等が予測されるなか、洪水や土砂災害、高潮災害などの自然災害リスクの増大に対し、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての長期的な視点に立った予防的な施設の整備や災害に備えた体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）及び判断のあり方、災害危機管理能力の向上などの施策及び取り組みについて学び、防災対策の推進に資することを目的としています。

なお、本講習会は北海道・札幌市の共催(予定)、国土交通省の後援(予定)のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員…… 9,600 円〔昼食の幹旋なし〕
正会員（地元〔北海道内〕）…… 1,500 円〔 " 〕
非会員…… 14,600 円〔 " 〕
※「正会員（地元）」とは、開催地（北海道）内に勤務の「正会員」のみ
※聴講のみの参加は可能です

③現 場 研 修 料：…… 7,100 円〔うち昼食代1,200 円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は F A X にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.dion.ne.jp
TEL: 03(3585)4546 FAX: 03(3586)6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：（社）全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数の「549」をつけ加えて下さい。

⑦申 込 締 切 日：平成21年6月17日（水）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申込の取り消しについては下記のように処理いたします。なお、講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。

①	平成21年6月26日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成21年7月3日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し		返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定講習会として単位が取得できます。（会場で継続学習制度（CPDS）についての案内を配布します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第549回建設技術講習会（リスク及び危機管理）日程 ～災害リスクの増大に対応した防災・減災対策～

ー地球温暖化に伴う大雨の頻度の増加、台風の強度の増大、海面水位の上昇等が予測されるなか、洪水や土砂災害、高潮災害などの自然災害リスクの増大に対し、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての長期的な視点に立った予防的な施設の整備や災害に備えた体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）及び判断のあり方、災害危機管理能力の向上などの施策及び取り組みについて学び、防災対策の推進に資するものとするー

会 場…………… 共済ホール（共済ビル6階）
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 TEL011-251-7333(代)

1日目 平成21年7月8日（水）				（敬称略）	
10：00	あいさつ	北海道開発局長	鈴木	木	英 一
10：20	〃	北海道知事	高	橋	はるみ
	〃	札幌市長	上	田	文 雄
10：20	近年の自然災害の特徴と危機管理①	関西大学環境都市工学部	河	田	恵 昭
11：50		理事 教授 （前京都大学防災研究所巨大災害研究センター長）			
13：00	近年の自然災害の特徴と危機管理②	関西大学環境都市工学部	河	田	恵 昭
14：00		理事 教授 （前京都大学防災研究所巨大災害研究センター長）			
14：10	【特別講演】	北海道大学名誉教授	かがみ	鏡	味 洋 史
15：10	札幌市の第3次地震被害想定について				
15：20	【地域事業の紹介①】	札幌市建設局土木部 創成・駅前整備担当課長	清	水	英 征
15：50	創成川通アンダーパス連続化事業について				
15：50	【地域事業の紹介②】	北海道小樽土木現業所事業部 事業課長	今		雅 史
16：20	主要道道小樽港線 勝納跨線橋架け換え事業について				
2日目 7月9日（木）				（敬称略）	
9：20	災害時の意志決定	東京大学大学院情報学環	田	中	淳
10：40	～情報共有と創造力～	総合防災情報研究センター 教授			
10：50	平成20年8月豪雨の対応について	国土交通省中部地方整備局河川部	高	橋	洋 一
11：50		河川調査官			
13：00	災害危機管理とロールプレイング演習	財団法人 河川情報センター	岡	山	和 生
14：30		理事			
14：40	土砂災害とその対応	国土交通省北海道開発局建設部	竹	内	正 信
15：40		河川計画課 河川企画官			
15：40	閉会のあいさつ	北海道地区連合会長 （札幌市建設局長）	渡	邊	光 春
地域の独自調査					
【現場研修】 3日目 7月10日（金）					

ほくでんビル前（8:20）出発

- 創成川アンダーパス連続化事業（車中見学） → 大倉山整備事業（下車説明） → 昼食（札幌市内）
- 3・2・4臨港線（勝納跨線橋）（主要道道小樽港線）（下車説明）
- モエレ沼公園造成事業（下車説明） → J R札幌駅（15:10）／新千歳空港（16:10）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

CPDS学習プログラム認定講習会

第549回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 創成川通アンダーパス連続化事業

…………… 札幌市中央区大通～北3条、南5条～南2条

本路線は、都心南北交通の主軸であり、また、道路中央に位置する創成川は本市における歴史的遺産であるとともに、シンボリックな南北都市軸となっています。

本市都心部においては、高次の都市機能と快適で魅力ある空間として、交通混雑の緩和や都心空間の有効利用、都心環境の改善などが求められており、それらの一方策として昭和46年に完成した、南アンダーパス（南5条～南2条）と北アンダーパス（大通～北3条）の2つのアンダーパスを結び、連続化を図ります。なお、平成21年3月24日にトンネル部の供用を開始しました。引き続き、平成22年度まで地上部（道路、親水緑地空間）の整備を予定しています。



2 3・2・4臨港線（勝納跨線橋）（主要道道小樽港線）

…………… 小樽市勝納町

本路線は札幌自動車道小樽ICから小樽中心部を接続する幹線街路とともに札幌圏に連絡する大動脈でもあり小樽市の観光や都市活動を支える重要な路線として位置づけられています。当該路線起点側のJR函館本線を横断する勝納跨線橋は昭和44年に完成し供用開始から40年経過し、老朽化、耐震性の不足、ランニングコストの増大、幅員狭小が原因の交通渋滞といったこともあり、平成17年に跨線橋の新設事業を開始しました。

この架け換え事業は、平成22年度まで予定しており、緊急輸送道路としての機能の確保を図るとともに、都市間連絡の強化、交通需要に対応した適正な道路幅員の確保により交通渋滞の緩和など円滑な交通を確保しに寄与するものとなっています。



3 モエレ沼公園造成事業

…………… 札幌市東区丘珠町

モエレ沼公園は、札幌の市街地を公園や緑地の帯で包み込もうという、「環状グリーンベルト構想」における北部の拠点公園として計画されました。モエレ沼を含む約189haを公園区域として平成17年（2005年）夏に全面完成いたしました。

モエレ沼公園は、ゴミ処理場建設の必要に迫られていた清掃事業とあいまって、ゴミ処理場として利用した後、公園造成を行うユニークな事業として整備が始まりました。昭和54年からゴミの埋立てが、昭和57年からは公園の基盤造成が始まり平成2年の処理場閉鎖まで搬入された廃棄物の総量は270万tになります。

なお、昭和63年3月、初めて札幌を訪れた彫刻家イサム・ノグチは、雪の残るモエレ沼の水面と大地、その上に広がる北の空を眺めていました。この公園事業に強い関心を持った同氏の期待に応え、札幌市は公園の設計を委託し、同氏は、「全体をひとつの彫刻とみなした公園」のマスタープランを完成されました。



第549回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には札幌市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送 金 先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座No.1015114

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「549」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6階）

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消し・返金について

平成21年6月29日（月）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成21年6月30日（火）～7月6日（月）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成21年7月7日（火）、8日（水）、9日（木）、延泊10日（金）

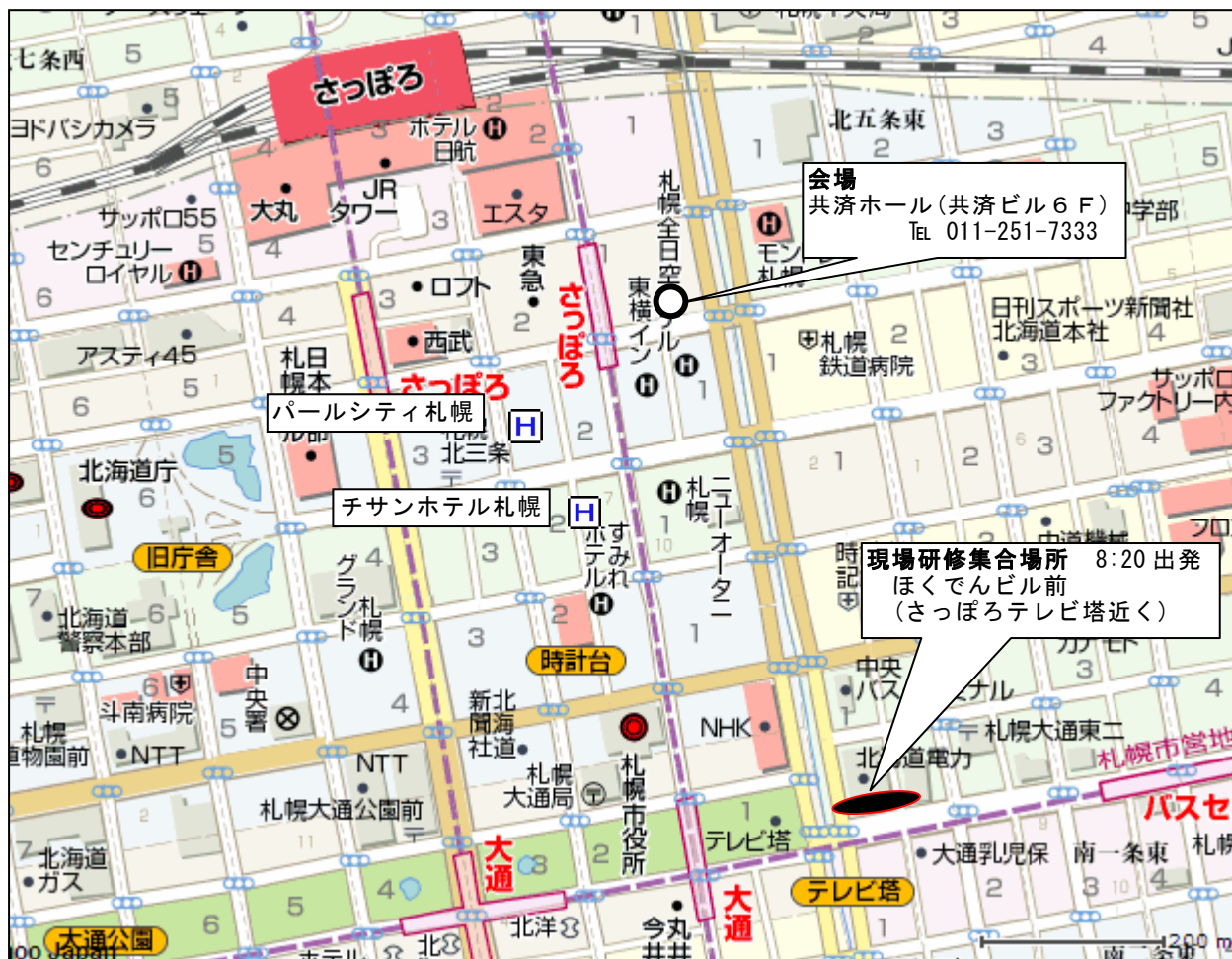
（1泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	チサンホテル札幌	札幌市中央区北二条西2丁目9番地 TEL:011-222-6611	シングル	20名	9,500円
B	ホテルパールシティ札幌 (旧:札幌オークホテル)	札幌市中央区北3条西2丁目 TEL:011-222-0511		30名	8,700円
宿泊斡旋人数合計				50名	

※宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第549回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄にA～Dを記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」

【往路①】7月7日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	東京（羽田） → 札幌（千歳） 15:00 16:30	ANA 69 （全日本空輸）	30 席	15,500 円

【復路①】7月9日（木）聴講終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
B	札幌（千歳） → 東京（羽田） 18:30 20:05	ANA 74 （全日本空輸）	10 席	16,500 円

【復路②】7月10日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
C	札幌（千歳） → 東京（羽田） 17:30 19:05	ANA 72 （全日本空輸）	30 席	18,000 円

【復路③】7月11日（土）現場研修翌日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	札幌（千歳） → 東京（羽田） 16:30 18:05	ANA 70 （全日本空輸）	10 席	16,000 円

- ・上記代金には、旅客施設使用料（羽田1区間100円）、が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約40分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道1席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	6/23～6/25 に取消した場合	6/26～7/6 に取消した場合	7/7以降便出発 迄に取消した場合
A～D	東京（羽田）←→札幌（千歳）	3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名)

第549回建設技術講習会（リスク及び危機管理）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		現 場 研 修	宿泊申込				航空便申込	
(フリガナ) 氏 名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員		予約日にA・Bを 記入して下さい				A～Dを 記入	
					7月 7日	8日	9日	10日	7月 7日	9～ 11日	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名× 9,600円＝ 正会員 (地元) 名× 1,500円＝ ※正会員 (地元) とは、開催地 (北海道) 内に勤務の「正会員」 非会員 名×14,600円＝			円	↑ 現場研修 の昼食は 不要の申 し出はで きません※	宿泊予約金 泊×4,000円					円	
現場研修料 名× 7,100円＝			円		航空便 往路 円 復路 円						
計			円		計					円	

↓全建に振込

↓ 西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、
「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。 なお、この場合、原本の郵送は不要です。 全建FAX 03-3586-6640 迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食の斡旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。